

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 26 年 5 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を公表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東約 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、今期間、噴気は認められませんでした。

・地震活動（図 2 - 、図 3）

乗鞍岳付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 2 - ~ ）

GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況
（5 月 19 日 乗鞍高原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 6 月分）は平成 26 年 7 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）

乗鞍岳

【計数基準の変遷】		
初期	2010年12月10日(観測開始)~2011年3月1日	三本滝振幅0.5 μ m/s以上、S-P2秒以内
変更	2011年3月2日~3月10日	三本滝振幅0.5 μ m/s以上、S-P1秒以内
変更	2011年3月11日~2013年11月1日	三本滝振幅3.0 μ m/s以上、S-P1秒以内
変更	2013年11月1日~	三本滝振幅0.2 μ m/s以上、S-P1秒以内

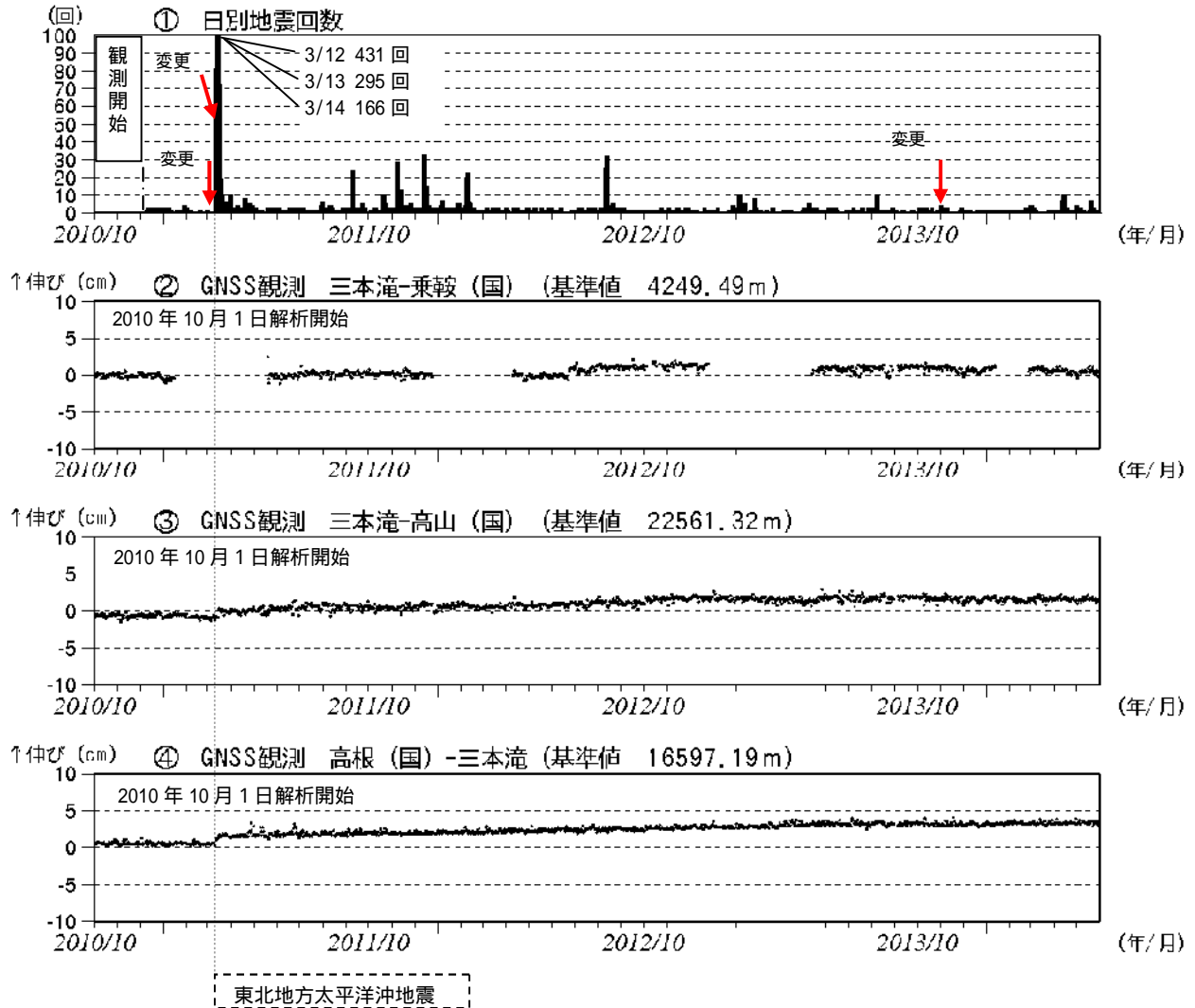


図2 乗鞍岳 火山活動経過図

乗鞍岳周辺の日別地震回数(2010年12月10日~2014年5月31日)

~ : GNSS連続観測による基線長変化(2010年10月1日~2014年5月31日)

(国): 国土地理院

の基線には、東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)に伴うステップ状の変化がみられます。

~ は図4のGNSS基線 ~ に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を示しています。

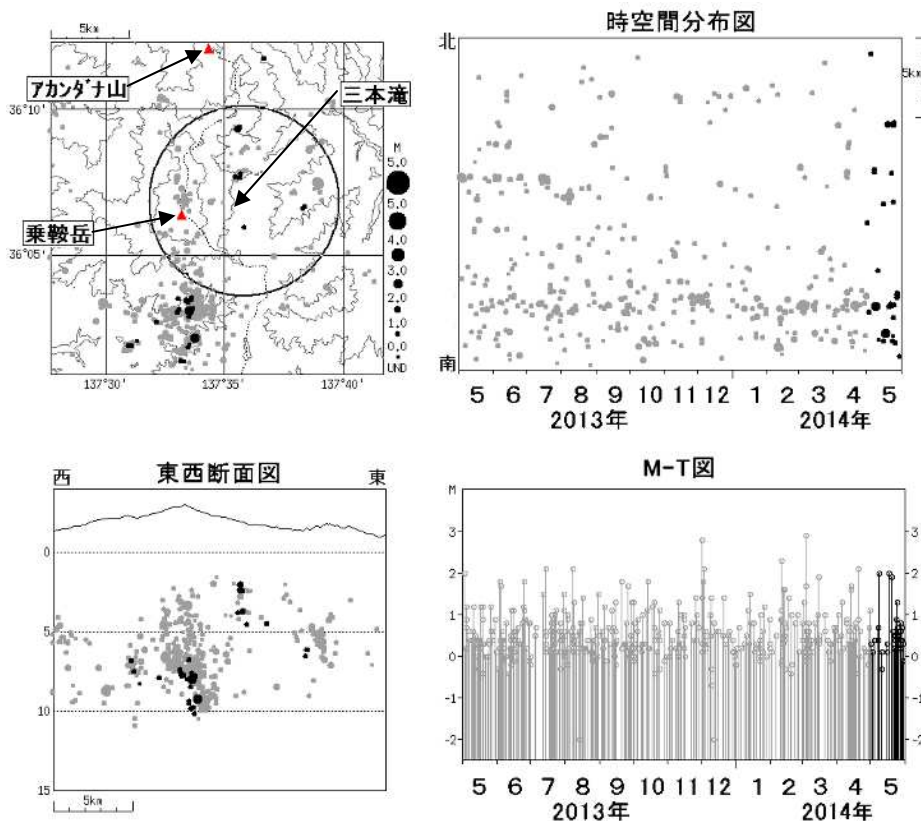


図3 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2013年5月1日~2014年5月31日)
 : 2013年5月1日~2014年4月30日 : 2014年5月1日~5月31日
 震央分布図中の円は図2の計数対象地震(三本滝でS-P時間1秒以内)のおよその範囲。
 M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

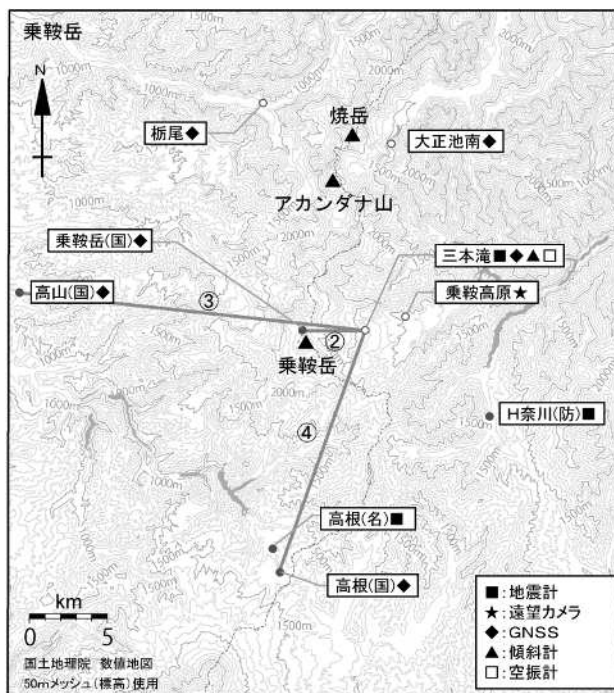


図4 乗鞍岳 観測点配置
 GNSS基線 ~ は図2の ~ に対応しています。